

東久留米総合 高等学校 令和8年度（2 学年用） 教科

科目 検定英語Ⅰ

の目標：

[illegible]

[illegible]

教科 外国語 科目 フランス語 単位数 2 単位
対象学年組 第 2,3学年
教科担当者 (松田) (組) (組) (組) (組) (組)
使用教科書 (ヴァズィ)

教科 外国語 の目標
【知識及び技能】 本文の内容を読み取ったり、聞き取ったりするのに必要な基本的知識・技能を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】 学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり、書いたりできる。
【学びに向かう力、人間性等】 主体的にペアで話し合ったり、発表しようとしている。また、学習について振り返りができる。

科目 フランス語 の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
①フランス語の発音を習得する。②平易なフランス語を聞き取り、発話できるようにする、	①学んだ基本的な構文を用いて自分の言いたいことを表現できるようにする。②聞き取った音から綴り字を類推して意味を検索出来るようにする。	与えられた課題に真剣に取り組み、困難なことでも簡単に諦めない忍耐力を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元：フランス語の基礎 【知識及び技能】母音と子音の発音 【思考力、判断力、表現力等】 挨拶、自己紹介 【学びに向かう力、人間性等】フ ランス語を用いて自己表現する能力	・指導事項：フランス語の母音概念図、子音 アルファベ、数字 ・教材 教科書及び配布プリント ・視聴覚教材の活用	【知識・技能】発音の基礎と挨拶表現を身につける。 【思考・判断・表現】口の形を意識して発音 できる。 【主体的に学習に取り組む態度】積極的に発 音・挨拶の反復練習に取り組む。	○	○	○	12
	B 単元：基礎構文 【知識及び技能】：第1、第2構文 【思考力、判断力、表現力等】： 平易なフランス語の文を作る。 【学びに向かう力、人間性等】 学んだ表現を積極的に使うようになる	・指導事項：動詞 ”être”、形 容詞の整数変化、不定冠詞 ・教材 教科書及び配布プリント ・視聴覚教材の活用	【知識・技能】：性数一致を理解しているか。 【思考・判断・表現】基本的な誤りのない文 を正しく発音できるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中に積極的に反復練習に取り組んでいる か。	○	○	○	14
	C 単元 【知識及び技能】：第3構文 【思考力、判断力、表現力等】 平易なフランス語の文を作る。 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項：動詞 ”avoir”、 否定文 ・教材 教科書及び配布プリント ・視聴覚教材の活用	【知識・技能】所有形容詞の理解 【思考・判断・表現】自分の持ち物を言う。 所有者を言う。 【主体的に学習に取り組む態度】 毎授業ごとに提出課題に取り組んでいるか。	○	○	○	6
				○	○	○	
	定期考査			○	○		1
2 学 期	D 単元：日常生活のフランス語 【知識及び技能】：第3構文 【思考力、判断力、表現力等】 平易なフランス語の文を作る。 【学びに向かう力、人間性等】学ん だフランス語を日常生活に役立てる ようにする。 定期考査	・指導事項：冠詞相当語句、第1群 規則動詞を用いた作文。ルセットを よむ・書く。・教 材 教科書及び配布プリント ・視聴覚教材の活用	【知識・技能】動詞活用 of の仕組みを理解してい るか。 【思考・判断・表現】基本的な誤りのない文 を正しく書くことができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中に積極的に反復練習に取り組んでいる か。	○	○	○	24
				○	○		1
3 学 期	E 単元：過去のことを言う 【知識及び技能】：複合過去 【思考力、判断力、表現力等】 自分のしたことを平易なフランス語 で表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 学んだフランス語で日記やクリスマ スカードを書くことができる。 定期考査	・指導事項：助動詞の選択、過去分 詞の作り方。・教 材 教科書及び配布プリント ・視聴覚教材の活用	【知識・技能】動詞活用 of の仕組みを理解してい るか。 【思考・判断・表現】基本的な誤りのない文 を正しく発話し、書くことができるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業中に積極的に反復練習に取り組んでいる か。	○	○	○	11
				○	○		1
							合計 70

東久留米総合高等学校 令和8年度

科 目： 韓國語

科目 韓国語

2 单位

組～ 組

教科担当者：武井 一 (組：) (組：) (組：) (組：) (組：)

使用教科書：（『できる韓国語 中・高校生の基本編』（DEKIRU出版） ※プリント教材も適宜配布します。）

の目標：

【知識及び技能】 本文の内容を読み取ったり、聞き取ったりするのに必要な基本的知識・技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり、書いたりできる。

【学びに向かう力、人間性等】 主体的にペアで話し合ったり、発表しようとしている。また、学習について振り返りができる。

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
①日本語との類似点、異なる点を理解する。②学習した項目などを、適切な場面で適切に用いることができるようにする。	①学習した内容を通して、自らの伝えたいことを適切に表現できるか、②相手が伝えたい内容を理解できるようにすることを目指す。	①間違えることを恐れず、積極的に学び、使おうとするか。②韓国語の学習を通じて異なる社会の背景を積極的に理解しようとしているか。

[illegible]

高等学校 令和8年度 (2.3 年次用) 教科 外国語 科目 中国語
 教科： 外国語 科 目： 中国語 単位数： 2 単位
 対象学年組：第 2.3学年 組～ 組
 教科担当者： (組：池ノ谷) (組：) (組：) (組：)
 使用教科書： (『李軾倫先生と学ぶ はじめての中国語』 (NHK出版) ※プリント教材も適宜配布)

科目 中国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
①日本語や英語との比較を通して、中国語の言語的特徴を理解する。 ②学習した語法や語彙を使って適切な会話ができるようにする。	①中国語の文法・語彙を理解し、自ら伝えたいことを適切に表現できるように目指す。 ②会話練習を通じて、相手の言っていることを理解できるように目指す。	①学習した語法や表現を用いて、中国語で積極的なコミュニケーションが行えるようにする。 ②中国語文化圏に対する歴史、文化に対する関心を広げ、異文化理解に対する健全な態度を養う。

[illegible]

東久留米総合 高等学校 令和8年度 教科 芸術 科目 声楽（選択）

科 目： 声楽（選択）

科目 声楽（選択）

单位数： 2 单位

教科担当者：（矢澤 知壽子） （橋場 友彦）

使用教材： (The Basics of Music 2改訂版

教科 芸術

の目標：

【知 識 及 び 技 能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 音楽（選択）

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
創意工夫などを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱・器楽・創作などで表現することを目標とする。	音楽をどのように表すかについて表現意図を持ち、評価しながら良さや美しさを味わって聞くことができる。	音や音楽、音楽文化と豊かに関り主体的・対話的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組むことを目標とする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			歌	器	創						
1 学 期	A 単元 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等									
	年間を通して腹式呼吸、コンコーネを学ぶ。	・声楽に必要な身体の知識 ・コンコーネ練習	○			○	・発声法を学び、歌う事の楽しさを知ることができたか。	○	○	○	8
	・声楽の歴史を学ぶ。 ・声種の違いを学ぶ。	・グレゴリア聖歌 ・カストラート歌唱の鑑賞 ・有名オペラのアリアの鑑賞 ・端末の利用	○			○	・声楽のルーツを学ぶことができたか。 ・個々の声質の違いを理解することができたか。 ・スムーズに端末で調べ学習ができたか。	○	○	○	8
	・実技テスト ・レポート提出	・歌の実技テストと様々な鑑賞のレポート作成	○			○	・意欲的に実技テストに望めたか。 ・意欲的にレポート作成ができたか。	○	○	○	4
2 学 期	・ドイツ歌曲 イタリア歌曲	・野ばら、他 ・泣かせてください、他	○			○	・それぞれの国の曲の特色を学び、言語も学ぶことができたか。 ・ハーモニーを学ぶことができたか。	○	○	○	20
	・日本歌曲 ・重唱 ・実技テスト ・レポート提出	・小さな空、他 ・オペラ、ミュージカル、歌曲から様々な曲を練習 ・歌の実技テストと様々な鑑賞のレポート作成	○			○	・意欲的に実技テストに望めたか。 ・意欲的にレポート作成ができたか。	○	○	○	20
3 学 期	オペラ、オペレッタ、ミュージカル	・「フィガロの結婚」「こゝもり」「カルメン」、他 ・端末の利用	○			○	・ストーリーや背景を理解し、その上で歌唱法の練習方法を学ぶことができたか。	○	○	○	8
	・実技テスト ・レポート提出	・歌の実技テストと様々な鑑賞のレポート作成	○			○	・意欲的に実技テストに望めたか。 ・意欲的にレポート作成ができたか。	○	○	○	2

東久留米総合 高等学校 令和8年度（2年次用） 教科

クラフトデザイン

单位数： 2 单位

6 組

)

の目標： 芸術の幅広い活動を通して、各科目における見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の芸術や芸術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

の目標：美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
			絵・ 彫	デ	映							
1 学 期	文化祭の展示を目標に、のある立体物を制作する。	オリエンテーションを通じ、コミュニケーションを図る。また、ICTを活用し、制作方法を主体的に模索する。	○			○			○	○		
	文化祭の展示を目標に、グループ活動を通じて立体物を制作する。	試作品の制作を通して、グループで課題を分析する。構想を練り、膨らませる。制作する上で必要な素材を研究する。	○			○	観察、ワークシート記入 構想を実現するための手順や新しい技術を知り、仲間と協力しながら制作する姿勢を評価する。		○	○	○	11
	文化祭の展示を目標に、グループ活動を通じて立体物を制作する。	素材を収集し、グループで制作を進める。グループ内で課題を分析する。構想を練り、膨らませる。	○			○	観察、ワークシート記入 構想を実現するための手順や新しい技術を知り、仲間と協力しながら制作する姿勢を評価する。		○	○	○	3
	文化祭の展示を目標に、グループ活動を通じて立体物を制作する。	素材を収集し、グループで制作を進める。グループ内で課題を分析する。構想を練り、膨らませる。	○			○	観察、作品 構想を実現するための手順や新しい技術を知り、仲間と協力しながら制作する姿勢を評価する。		○	○	○	11
2 学 期	文化祭展示	より鑑賞者に楽しんでもらえる工夫を空間まで意識をして、構築する。	○			○	作品、展示の様子 グループで協力し、展示空間を含めて構想を膨らませて、展示を効果的に行っているかを評価する。		○	○	○	11
	彫塑が可能な粘土を加工し、オリジナルのキャンドルハウスを制作する。制作を通して、立体構造について認識を高め、道具を適切に扱うことで、自己の表現を追求する姿勢を養う。	立体的な構想をできるようにする。制作を通して、自己の表現美を追求する。	○			○	作品、観察、ワークシート記入 構想を実現するための手順や新しい技術を知り、柔軟に取り入れる姿勢を評価する。		○	○	○	14
3 学 期	彫塑が可能な粘土を加工し、オリジナルのキャンドルハウスを制作する。制作を通して、立体構造について認識を高め、道具を適切に扱うことで、自己の表現を追求する姿勢を養う。	・立体的な構想をできるようにする。制作を通して、自己の表現を追求する。 ・友人の作品の良さを感じ取り、自己の作品に生かそうとする。	○			○	作品、観察、ワークシート記入 構想を実現するための手順や新しい技術を知り、柔軟に取り入れる姿勢を評価する。		○	○	○	9
	彫塑が可能な粘土を加工し、オリジナルのキャンドルハウスを制作する。制作を通して、立体構造について認識を高め、道具を適切に扱うことで、自己の表現を追求する姿勢を養う。	・立体的な構想をできるようにする。制作を通して、自己の表現を追求する。 ・アクリル絵具で着色を行うことで、絵具や道具の適切な扱いを身に付ける。	○			○	作品、観察、ワークシート記入 構想を実現するための手順や新しい技術を知り、柔軟に取り入れる姿勢を評価する。		○	○	○	11
												合計 70

年間授業計画 新様式

東久留米総合 高等学校 令和8年度（2 年次用） 教科

家庭 科目 保育基礎

教 科： 家庭 科 目： 保育基礎

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 6 組

教科担当者： （1 組：長沢） （2 組：長沢） （3 組：長沢） （4 組：長沢） （5 組：長沢） （6 組：長沢）

使用教科書： （実教出版 保育基礎）

教科 家庭 の目標：

【知 識 及 び 技 能】生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】様々な人々と協働し、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

科目 保育基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
保育の意義や方法、子どもの発達や生活の特徴及び福祉と文化などについて体系的・系統的に理解し、関連する技術を身につけるようにする。	保育を担う職業人を目指す生徒として子どもを取り巻く課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を養う。	保育に主体的かつ協働的に取り組む態度を養い、子どもの健やかな発達を目指した学びを身につけさせるための努力ができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	保育の意義と環境及び方法を知る	・家庭及び幼稚園、保育所や認定こども園について、それぞれの養育・保育環境の特徴や役割について理解する。 ・絵本のように自己紹介カードをつくり、発表する。	【知識・技能】 家庭での養育と集団保育の役割を理解している 【思考・判断・表現】 現在の子育て家庭が集団保育に求めていることについて具体的に考察することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 身近な保育・教育施設について関心をもち自ら情報収集しようとしている	○	○	○	12
	子どもの発達特性及び、乳幼児の発育発達について将来に役立つ知識と技能を身につける	・発達には順序性・連続性・方向性・相互性という一定の共通性がある一方で、個人差があることを理解する。	【知識・技能】 子どもの発達の共通性・個性について理解している 【思考・判断・表現】 発達の各側面が相互に関連し合っていることを読み取り、具体的に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 子どもの発達について自ら情報収集しようとしている	○	○	○	12
	小テスト・教場考査			○	○		1
2 学期	子どもの健康と生活及び食事について知り、体験する。	・基本的生活習慣と社会的な生活習慣の違いを理解する。 ・子どもの栄養と食生活の特徴を知り、必要なエネルギーと栄養素について理解する。	【知識・技能】 子ども養護の必要性、乳幼児の食生活での特徴や発達に必要なエネルギーと子どもの健やかな発達が遊びによってつながっていることを理解している。 【思考・判断・表現】 生活習慣の習得を促す保育者としての具体的な関わり方を考察することができる。 現代の子どもの食生活の変化について自分の考えをまとめて発表できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 子どもの気持ちに寄り添うにはどうかかわるか主体的に捕えようとしている。調理に関心をもち実習に積極的に参加している。	○	○	○	16
	子どもの衣服と寝具、健康と安全、保育にみる児童福祉について学ぶ。	・子どもを安全に養護するためのポイントや注意点について理解する。 ・保育にみる児童感や児童福祉の理念と法規・制度について理解する。 ・子どもの健やかな発達における遊びの重要性や意義をおもちゃづくりなどの活動を通して理解する。	【知識・技能】 こどもの衣服や寝具、健康と安全について理解し、児童福祉における理念・法律・放棄を身につける。 【思考・判断・表現】 子どもが楽しく安全に遊ぶことができるように工夫することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 身近な地域の遊びについて関心を持ち、積極的に調べようとしている。	○	○	○	16
	小テスト・教場考査			○	○		1
3 学期	子どもの表現活動 子育て支援の現状	・子どもの表現活動によって培われる能力について知り、表現活動の重要性や意義を理解する。 ・国内各自治体における子育てに関する支援制度について調べ、どの様な支援がどの様な地域で行われているのかを知る。	【知識・技能】 子どもの発達における表現活動の意義を理解している。 地域の子育て支援について理解をしている。 【思考・判断・表現】 表現活動において、子どもの意欲を引き出すためにどのように関わるとよいか自分の考えをまとめることができる。 支援について調べた内容をまとめ、発表することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 保育施設で行われている活動表現に関心を持ち、積極的に調べようとしている。 国内の養育支援について積極的に調べようとしている。	○	○	○	12
							合計
							70

年間授業計画 新様式				情報		科目 ネットワークシステム	
東久留米総合 高等学校 令和8年度（2年次用） 教科		科 目： ネットワークシステム		単位数： 2 単位			
対象学年組： 第 2 学年		選択					
教科担当者： （ 望月 ）							
使用教科書： （〔情報706〕情報ネットワークシステム						）	
教科 情報		の目標：					
【知識及び技能】		情報と情報技術を問題の発見・解決に活用するための知識についての理解					
【思考力、判断力、表現力等】		事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。					
【学びに向かう力、人間性等】		情報社会との関わりについて考えながら改善しようとする。					
科目 ネットワークシステム		の目標：					
【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】		【学びに向かう力、人間性等】			
ネットワークシステムに関する基礎的・基本的な技術を身に付け、要求をもとに合理的にネットワークを設計し、構築にその技術を適切に活用している。		安全で快適なネットワークシステムの利用と構築を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、ネットワークシステムに携わる者として論理的に考えて判断し、正しく表現できる創造的な能力を身に付けている。		ネットワークシステムの利用や構築について関心を持ち、その改善・向上を目指して積極的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。			

東久留米総合 高等学校 令和8年度

教科

(商 業) 科 目 (グローバル経済)

单位数： 2 单位

組～ 組

(組 :

)

の目標：

商業の各分野において、体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

ビジネスに関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

職業人として必要な豊かな人間性を育み、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
経済のグローバル化について実務に即して体系的・系統的に理解するようにする。	経済のグローバル化への対応に関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。	ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、グローバル化する経済社会におけるビジネスに主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価標準	知	思	態	配当 時数
1 学期	・グローバル化と国際化の違いについて理解し、グローバル化する現在の社会について理解を深める。 ・金融、企業、社会の多様性とグローバル化の関連について考える。 ・地域経済統合の意義について学ぶ。 ・グローバル化によってどのように経済発展に結びつくのかを学ぶ。 ・グローバル化による問題点について考え、対応方法について検討する。 ・章末の実習に取り組む。	第1章 グローバル化が進展する社会 1. 国境を超えて広がる世界 2. グローバル化する社会 3. グローバル化と地域経済統合の動き 4. グローバル化と経済発展 5. グローバル化の諸問題	グローバル化する社会の現状やその問題点の概要について理解している。 ・グローバル化の進展によって、社会がどのように変化しているのか、経済面での発展との関連について考えている。 ・地域経済統合の意義について理解し、主な地域経済統合について把握している。 ・グローバル・バリューチェーンについて理解するとともに、経済発展との関連について考えている。 ・グローバル化による問題点について、解決策の検討に取り組んでいる。 ・実習に積極的に取り組んでいる。	○	○	○	10
	・多国籍企業のグローバル経営について理解し、企業がグローバル化する理由について考える。 ・企業が海外進出するにあたっての方法や難しさなどを学ぶ。 ・マザー工場システムや海外拠点の役割について理解し、グローバル化の問題点について学ぶ。 ・グローバル経営における課題を把握し、対応策について考える。 ・グローバル経営を進めるにあたって求められる企業の社会的責任について理解する。 ・章末の実習に取り組む。	第2章経営のグローバル化 1. 多国籍企業とグローバル経営 2. 企業の海外進出とグローバル経営の難しさ 3. グローバル経営の現状 4. グローバル経営の課題 5. グローバル化に伴う企業の社会的責任	・企業がグローバル化する理由について考察することができている。 ・企業が海外進出する際の判断基準や方法について、それぞれの内容を理解している。 ・海外拠点の役割の変化や現地化の内容について理解している。 ・グローバル経営を行う上での課題について考察し、対応方法について考案することができている。 ・グローバル化に伴う問題に対する企業の社会的責任について理解している。 ・実習に積極的に取り組んでいる。	○	○	○	14
	定期考查			○ ○			2
2 学期	・経済のグローバル化における人材（ヒト）の状況を外国人労働者や賃金の観点を含めて理解する。 ・自由貿易と国際分業の観点をもとに、経済のグローバル化における財（モノ）のやり取りに関して、二国間協定や地域経済統合の意義を学ぶ。	第3章 経済のグローバル化 1. 人材のグローバル化 2. 財とサービスのグローバル化	・人材のグローバル化について、現状を理解し、課題について考察することができている。 ・国際分業の特徴について理解し、それを実現させるための各種協定等について、各国における状況を踏まえて理解している。	○	○	○	10
	・金融の役割や形態、金融商品、金融機関等について学び、日本における金融の現状と外国為替に関する知識を学び、金融（カネ）のグローバル化について理解する。 ・情報通信技術の発達と個人情報のある方についての視点から、情報のグローバル化について理解する。 ・章末の実習に取り組む。 ・需要と供給に着目した市場に関する理論について理解し、現実の社会における市場の役割と課題について学ぶ。	3. 金融のグローバル化 4. 情報のグローバル化 第4章市場と経済 1. 需要と供給による市場の理論	・金融の概要についての知識を身につけることができている。 ・日本における金融についての課題を把握し、その対応について考察することができている。また、グローバル化によって変化している金融の将来について考えている。 ・高度情報化社会の状況について理解しようとし、発生する諸問題についても解決策を検討することができている。 ・実習に積極的に取り組んでいる。 ・市場に関する理論的な内容について理解することができている。 ・現実社会における市場の課題について考察し、対応のための方法について考えることができる。 ・市場理論を通して、経済学について関心を持つようとしている。	○	○	○	16
	定期考查			○ ○			2
3 学期	・GDPについて理解し、マクロ的な視点から経済成長について学ぶ。 ・景気循環のしくみについて理解し、その弊害について考察する。 ・経済政策における政府の役割について学び、現状と問題点について理解する。 ・章末の実習に取り組む。	2. 経済成長 3. 景気循環とインフレーション 4. 経済政策	・GDPおよび関連する諸指標について、その内容、計算方法について理解している。 ・景気循環のしくみと問題点について科学的に考察することができている。 ・財政の内容や役割について理解し、あわせて現状と問題点についても理解している。 ・実習に積極的に取り組んでいる。	○	○	○	14
	定期考查						2
							合計
							70

年間授業計画

東久留米総合 高等学校 令和8年度（2,3学年選択用） 教科

商業 科目 マーケティング

教 科： 商業 科 目： マーケティング

単位数： 2 単位

対象学年組：第2、3 学年 組～ 組（選択）

教科担当者：（名取 ） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ）

使用教科書：（ マーケティング （実教出版） ）

教科 商業 の目標：

【知識及び技能】 ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質と能力を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 ビジネスに関する課題を発見し、倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 マーケティング の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
マーケティングについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	マーケティングに関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。	ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、マーケティングに主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	マーケティングの概要 【知識及び技能】 ・マーケティングを学ぶ意義を理解 【思考力、判断力、表現力等】 ・現代市場における課題を発見 【学びに向かう力、人間性等】 ・現代市場においてビジネスを展開する力を養うため協働的に取り組む。	・マーケティングを学ぶ意義を理解させる。 ・現代市場の特徴を理解し、マーケティングの歴史、考え方や手順について学ぶ ・現代市場の課題を見だし、解決の方法を考える。	【知識・技能】 ・マーケティングを学ぶ意義を理解している。 【思考・判断・表現】 ・現代市場の課題を発見し解決のために積極的に取り組んでいる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現代市場の課題に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	○	8
	マーケティング環境の分析・消費者行動の理解 【知識及び技能】 ・SWOT分析について理解 ・消費者の心理と行動、購買意思決定を理解 【思考力、判断力、表現力等】 ・現代市場における課題を発見 【学びに向かう力、人間性等】 ・現代市場においてビジネスを展開する力を養うため協働的に取り組む。	・SWOT分析について理解し、関連する技術を学ぶ。 ・消費者の心理や購買意思決定までの過程や影響を与える要因について理解させる ・現代市場の課題を見だし、解決の方法を考える。	【知識・技能】 ・SWOT分析について理解し、具体的な事例を分析できる。 ・消費者の心理や消費者行動について理解している。 【思考・判断・表現】 ・SWOT分析について具体的な事例で主体的に分析できる。 ・現代市場の課題を発見し解決のために積極的に取り組んでいる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現代市場の課題に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	○	6
	中間考査（授業内）			○	○		1
	市場調査・STP 【知識及び技能】 ・市場調査についての理解 ・STP分析についての理解 【思考力、判断力、表現力等】 ・現代市場における課題を発見 【学びに向かう力、人間性等】 ・現代市場においてビジネスを展開する力を養うため協働的に取り組む。	・市場調査について理解させる。 ・STP分析を理解し、関連する技術を学ぶ。 ・現代市場の課題を見だし、解決の方法を考える。	【知識・技能】 ・市場調査について理解している。 ・STP分析について企業における事例を理解している。 【思考・判断・表現】 ・STP分析について主体的かつ協働的に取り組んでいる。 ・現代市場の課題を発見し解決のために積極的に取り組んでいる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現代市場の課題に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	○	8
	製品政策 【知識及び技能】 ・製品政策についての理解 【思考力、判断力、表現力等】 ・現代市場における課題を発見 【学びに向かう力、人間性等】 ・現代市場においてビジネスを展開する力を養うため協働的に取り組む。	・製品政策について企業における具体的な事例について理解させる ・売上高予測、損益分岐点などの計算方法を学ぶ。 ・現代市場の課題を見だし、解決の方法を考える。	【知識・技能】 ・製品政策における課題について理解している。 ・売上高予測、損益分岐点などの計算ができる。 【思考・判断・表現】 ・現代市場の課題を発見し解決のために積極的に取り組んでいる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現代市場の課題に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	○	6
2 学 期	期末考査（授業内）			○	○		1
	価格政策 【知識及び技能】 ・価格政策についての理解 【思考力、判断力、表現力等】 ・現代市場における課題を発見 【学びに向かう力、人間性等】 ・現代市場においてビジネスを展開する力を養うため協働的に取り組む。	・価格政策について具体的な事例について理解させる。 ・コストプラス法による価格設定の計算を学ぶ。 ・現代市場の課題を見だし、解決の方法を考える。	【知識・技能】 ・価格政策における課題について理解している。 ・コストプラス法による価格設定の計算ができる。 【思考・判断・表現】 ・現代市場の課題を発見し解決のために積極的に取り組んでいる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現代市場の課題に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	○	11
	中間考査（授業内）			○	○		1
	チャネル政策・プロモーション政策 【知識及び技能】 ・チャネル政策についての理解 ・プロモーション政策についての理解 【思考力、判断力、表現力等】 ・現代市場における課題を発見 【学びに向かう力、人間性等】 ・現代市場においてビジネスを展開する力を養うため協働的に取り組む。	・チャネル政策について具体的な事例について理解させる。 ・プロモーション政策について具体的な事例について理解させる ・現代市場の課題を見だし、解決の方法を考える。	【知識・技能】 ・チャネル政策における課題について理解している。 ・プロモーション政策における課題について理解している。 【思考・判断・表現】 ・現代市場の課題を発見し解決のために積極的に取り組んでいる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現代市場の課題に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	○	11
3 学 期	期末考査（授業内）			○	○		1
	マーケティングのひろがり 【知識及び技能】 ・マーケティングのひろがりについての理解 【思考力、判断力、表現力等】 ・現代市場における課題を発見 【学びに向かう力、人間性等】 ・現代市場においてビジネスを展開する力を養うため協働的に取り組む。	・マーケティングのひろがりについて具体的な事例について理解させる。 ・商品回転率などの計算を学ぶ。 ・企業の資金・財政について理解する。 ・現代市場の課題を見だし、解決の方法を考える。	【知識・技能】 ・マーケティングのひろがりの課題について理解している。 ・商品回転率などの計算ができ、意味を理解している。 ・企業の資金や財政について理解し、必要な計算ができる。 【思考・判断・表現】 ・現代市場の課題を発見し解決のために積極的に取り組んでいる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現代市場の課題に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	○	16
	期末考査（授業内）			○	○		70
							合計

年間授業計画

東久留米総合 高等学校 令和8年度

教科 (商 業) 科目 (観光ビジネス)

教科 : (商 業) 科 目 : (観光ビジネス)

単位数 : 2 単位

対象学年組 : 第 2・3 学年 組～ 組

教科担当者 : (高橋) (組 :) (組 :) (組 :) (組 :) (組 :)

使用教科書 : (観光ビジネス)

教科 (商 業) の目標 :

【 知 識 及 び 技 能 】 商業の各分野において、体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 ビジネスに関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 職業人として必要な豊かな人間性を育み、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 (観光ビジネス) の目標 :

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
観光ビジネスについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	観光ビジネスに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。	ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、観光ビジネスに主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	・観光ビジネスを学ぶ意義を理解する。 ・観光とビジネスとの関係及び観光ビジネスの概要について学び、観光ビジネスの意義と課題について理解し、自ら学び、経済や消費者の動向などを踏まえ、観光ビジネスに主体的かつ協働的に取り組む。 ・観光ビジネスの主な産業の概要について学び、意義と関連する課題について理解し、自ら学び、経済や消費者の動向などを踏まえ、観光ビジネスに主体的かつ協働的に取り組む。	Introduction なぜ観光ビジネスを学ぶのか 第1章 観光ビジネスの概要 1. 観光ビジネスの担い手と特徴 2. 観光ビジネスの動向 3. 日本の観光政策 4. 観光ビジネスと地域 第2章 観光ビジネスの 主な産業 1. 旅行業 2. 宿泊業	・観光ビジネスを学ぶ意義を理解している。 ・観光とビジネスとの関係及び観光ビジネスの概要について理解するとともに、意義と課題について、日本における経済の発展と関連付けて見いだすことができる。 ・観光とビジネスとの関係及び観光ビジネスについて、主体的かつ協働的に取り組んでいる。 ・観光ビジネスの主な産業の概要について理解するとともに、意義と課題について、日本における経済の発展と関連付けて見いだすことができる。 ・観光ビジネスの主な産業について、主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	○	12
	・観光ビジネスの主な産業の概要について学び、意義と関連する課題について理解し、自ら学び、経済や消費者の動向などを踏まえ、観光ビジネスに主体的かつ協働的に取り組む。 ・観光ビジネスのマーケティングにおける顧客の種類や行動について学び、関連する課題を発見する。	第2章 観光ビジネスの 主な産業 3. 旅客輸送業 4. 娯楽業 5. その他の産業 第3章 観光ビジネスのマーケティング 1. 観光ビジネスの顧客	・観光ビジネスの主な産業の概要について理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 ・観光ビジネスの主な産業の意義と課題について、日本における経済の発展と関連付けて見いだすことができ、観光ビジネスの主な産業について、主体的かつ協働的に取り組んでいる。 ・観光ビジネスにおけるマーケティングにおける顧客の種類や行動理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		2
2 学 期	・観光ビジネスにおけるマーケティングの意義・戦略について学び、関連する課題を発見し、それを踏まえ、科学的な根拠に基づいて、観光ビジネスにおけるマーケティング計画を立案して実施し、評価・改善する。 ・実習に主体的かつ協働的に取り組む。 ・観光資源について学び、観光資源の活用および保護や保全に関する課題を発見し、それを踏まえ、科学的な根拠に基づいて、観光資源の活用に関する計画を立案して実施し、評価・改善する。 ・主体的かつ協働的に取り組む。	第3章 観光ビジネスのマーケティング 2. 観光ビジネスにおけるマーケティングの意義 3. 観光ビジネスのマーケティング戦略 実習 もしあなたが地域の観光マーケティング戦略の立案担当になったら 第4章 観光資源の発見と活用 1. 観光資源とは何か 2. 観光資源の保護と保全	・観光ビジネスにおけるマーケティングについて企業の事例と関連付けて理解するとともに、関連する課題を発見し、それを踏まえ、科学的な根拠に基づいて、観光ビジネスにおけるマーケティング計画を立案して実施し、評価・改善することができる。 ・自ら学び、経済や消費者の動向などを踏まえ、マーケティングに主体的かつ協働的に取り組んでいる。 ・実習に主体的・協働的に取り組んでいる。 ・観光資源について企業などにおける事例と関連付けて理解するとともに、観光資源の活用および保護や保全に関する課題を発見し、それを踏まえ、科学的な根拠に基づいて、観光資源の活用に関する計画を立案して実施し、評価・改善することができる。 ・自ら学び、経済や消費者の動向などを踏まえ、観光資源の効果的な活用主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	○	16
	・地方自治体の観光政策について学び、関連する課題を発見し、それを踏まえ、科学的な根拠に基づいて、観光政策を立案して実施し、評価・改善する。 ・地方自治体の観光政策について自ら学び、観光による地方創生や地域の活性化などを踏まえ、持続可能な観光政策に主体的かつ協働的に取り組む。	第5章 地方自治体の観光政策 1. 地方自治体の観光政策の概要 2. 地方自治体の観光政策の実施内容	・地方自治体の観光政策の概要について理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 ・地方自治体の観光政策に関する課題を発見し、それを踏まえ、科学的な根拠に基づいて、観光政策を立案して実施し、評価・改善することができる。 ・自ら学び、観光による地方創生や地域の活性化などを踏まえ、持続可能な観光政策に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		2
3 学 期	・観光まちづくりによる地域の活性化について学び、関連する課題を発見し、それを踏まえ、科学的な根拠に基づいて、観光まちづくりによる地域の活性化に関する計画を立案して実施し、評価・改善する。 ・観光まちづくりによる地域活性化について自ら学び、経済や消費者の動向などを踏まえ、観光ビジネスに主体的かつ協働的に取り組む。 ・実習に主体的かつ協働的に取り組む。	第6章 観光ビジネスと観光まちづくり 1. 観光まちづくりとは何か 2. 観光まちづくりと地域の活性化のプロセス 実習 地域の活性化と観光まちづくりの実践 プレゼンテーションをしてみよう	・観光まちづくりによる地域の活性化について企業における事例と関連付けて理解する。 ・観光まちづくりによる地域の活性化に関する課題を発見し、それを踏まえ、科学的な根拠に基づいて、観光まちづくりによる地域の活性化に関する計画を立案して実施し、評価・改善することができる。 ・自ら学び、経済や消費者の動向などを踏まえ、観光ビジネスに主体的かつ協働的に取り組んでいる。 ・実習に主体的・協働的に取り組んでいる。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		2
							合計 70

東久留米総合 高等学校 令和8年度（2年次用）

教科：国語

科 目： 実用国語

教科 国語 科目 実用国語

单位数： 2 单位

対象学年組：第 2 学年 組～ 組

教科担当者：（１組： 永井 ）

使用教科書：（なし）

教科 国語 の目標：

【知 識 及 び 技 能】 実社会に必要な国語の知識や技能を身につけさせる。

【思考力、判断力、表現力等】 論理的に考える力、共感したり想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高める。

【学びに向かう力、人間性等】 言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 実用国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			語・聞	書	読					
1 学 期	表現の基礎、国語の基礎知識 【知識及び技能】 漢字検定に必要な知識を習得する 【思考力、判断力、表現力等】 学んだ知識を的確に活用する 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に知識を得て、新たな学びをする	指導事項 ・漢字検定に即した漢字の学習、ことわざ、四字熟語の学習 ・近代文学史 ・敬語の学習 ・グループワークを主とした言語活動	○	○	○	【知識・技能】 漢字検定に必要な知識を習得している 【思考・判断・表現】 敬語を実際の場面での確に使えるようになるグループワークにおいて自分の役割を理解し、適切に活動を進めることができる 【主体的に学びに向かう姿勢】 積極的に知識を習得し、活用するなかで、新たなものを得ようとしている	○	○	○	23
	定期考査（授業内）			○	○		○	○		1
2 学 期	表現の基礎、国語の基礎知識 【知識及び技能】 漢字検定に必要な知識を習得する 【思考力、判断力、表現力等】 学んだ知識を的確に活用する 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に知識を得て、新たな学びをする	指導事項 ・漢字検定に即した漢字の学習、ことわざ、四字熟語の学習 ・近代文学史 ・敬語の学習 ・グループワークを主とした言語活動	○	○	○	【知識・技能】 漢字検定に必要な知識を習得している 【思考・判断・表現】 敬語を実際の場面での確に使えるようになるグループワークにおいて自分の役割を理解し、適切に活動を進めることができる 【主体的に学びに向かう姿勢】 積極的に知識を習得し、活用するなかで、新たなものを得ようとしている	○	○	○	24
	定期考査（授業内）			○	○		○	○		1
3 学 期	表現の基礎、国語の基礎知識 【知識及び技能】 漢字検定に必要な知識を習得する 【思考力、判断力、表現力等】 学んだ知識を的確に活用する 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に知識を得て、新たな学びをする	指導事項 ・漢字検定に即した漢字の学習、ことわざ、四字熟語の学習 ・近代文学史 ・敬語の学習 ・グループワークを主とした言語活動	○	○	○	【知識・技能】 漢字検定に必要な知識を習得している 【思考・判断・表現】 敬語を実際の場面での確に使えるようになるグループワークにおいて自分の役割を理解し、適切に活動を進めることができる 【主体的に学びに向かう姿勢】 積極的に知識を習得し、活用するなかで、新たなものを得ようとしている	○	○	○	20
	定期考査（授業内）			○	○		○	○		1
										合計
										70

年間授業計画

高等学校 令和8年度（2年次用） 教科 国語 科目 選択古典探究

教科：国語 科目：選択古典探究 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 組～組

教科担当者：（A1組：川島）（A2組：高麗）（組：）（組：）（組：）（組：）

使用教科書：（「精選古典探究 古文編」東京書籍 「精選古典探究 漢文編」東京書籍）

教科 国語 の目標：

- 【知識及び技能】 実社会に必要な国語の知識や技能を身につけさせる。
- 【思考力、判断力、表現力等】 論理的に考える力や共感したり想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高める。
- 【学びに向かう力、人間性等】 言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 選択古典探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	古典文法の学習 【知識及び技能】 助動詞の接続、意味を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 本文中での意味の識別ができる 【学びに向かう力、人間性等】 古典文法を積極的に学ぶことができる	指導事項 ・既習事項の復習 ・助動詞の用法の理解 ・問題演習			○	【知識・技能】 古典を読むために必要な文法の用法を理解し、語感を磨くことができる 【思考・判断・表現】 古典特有の表現を理解できる 【主体的に学びに向かう姿勢】 文法知識を的確に活用しようとしている	○	○	○	6
	「小野篁、広才のこと」 【知識及び技能】 必要な語句の量を増やして語彙を豊かにする 【思考力、判断力、表現力等】 構成や展開の確に捉え、内容を理解する 【学びに向かう力、人間性等】 進んで古典特有の表現に注意して展開の面白さを味わう	指導事項 ・文学作品の特徴や文学史の理解 ・助動詞や敬語の基本的な用法の確認 ・人物や場面の描写の内容の確認	○	○	○	【知識・技能】 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やして語彙を豊かにしている 【思考・判断・表現】 文章の種類を踏まえて、構成や展開の確に捉え、内容を理解することができる 【主体的に学びに向かう姿勢】 進んで古典特有の表現に注意して展開の面白さを味わい、内容を正確に読み取ろうとする	○	○	○	7
	定期考査			○	○		○	○		1
	「不死之薬」 【知識及び技能】 必要な語句の量を増やして語彙を豊かにする 【思考力、判断力、表現力等】 構成や展開の確に捉え、内容を理解する 【学びに向かう力、人間性等】 進んで古典特有の表現に注意して展開の面白さを味わう	指導事項 ・文学作品の特徴や文学史の理解 ・助動詞や敬語の基本的な用法の確認 ・人物や場面の描写の内容の確認	○	○	○	【知識・技能】 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やして語彙を豊かにしている 【思考・判断・表現】 文章の種類を踏まえて、構成や展開の確に捉え、内容を理解することができる 【主体的に学びに向かう姿勢】 進んで古典特有の表現に注意して展開の面白さを味わい、内容を正確に読み取ろうとする	○	○	○	7
	「初冠」 【知識及び技能】 必要な語句の量を増やして語彙を豊かにする 【思考力、判断力、表現力等】 構成や展開の確に捉え、内容を理解する 【学びに向かう力、人間性等】 進んで古典特有の表現に注意して展開の面白さを味わう	指導事項 ・文学作品の特徴や文学史の理解 ・助動詞や敬語の基本的な用法の確認 ・人物や場面の描写の内容の確認	○	○	○	【知識・技能】 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やして語彙を豊かにしている 【思考・判断・表現】 文章の種類を踏まえて、構成や展開の確に捉え、内容を理解することができる 【主体的に学びに向かう姿勢】 進んで古典特有の表現に注意して展開の面白さを味わい、内容を正確に読み取ろうとする	○	○	○	7
	定期考査			○	○		○	○		1
	古典文法の学習 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	指導事項 ・既習事項の復習 ・助動詞の用法の理解 ・問題演習			○	【知識・技能】 古典を読むために必要な文法の用法を理解し、語感を磨くことができる 【思考・判断・表現】 古典特有の表現を理解できる 【主体的に学びに向かう姿勢】 文法知識を的確に活用しようとしている	○	○	○	6
	「焼捨」 【知識及び技能】 必要な語句の量を増やして語彙を豊かにする 【思考力、判断力、表現力等】 構成や展開の確に捉え、内容を理解する 【学びに向かう力、人間性等】 進んで古典特有の表現に注意して展開の面白さを味わう	指導事項 ・文学作品の特徴や文学史の理解 ・助動詞や敬語の基本的な用法の確認 ・人物や場面の描写の内容の確認	○	○	○	【知識・技能】 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やして語彙を豊かにしている 【思考・判断・表現】 文章の種類を踏まえて、構成や展開の確に捉え、内容を理解することができる 【主体的に学びに向かう姿勢】 進んで古典特有の表現に注意して展開の面白さを味わい、内容を正確に読み取ろうとする	○	○	○	8

2 学 期	定期考査			○	○		○	○		1
	「雪のいと高ふ降りたるを」「宮に初めて参りたるころ」 【知識及び技能】 必要な語句の量を増やして語彙を豊かにする 【思考力、判断力、表現力等】 構成や展開の確に捉え、内容を理解する 【学びに向かう力、人間性等】 進んで古典特有の表現に注意して展開の面白さを味わう	指導事項 ・文学作品の特徴や文学史の理解 ・助動詞や敬語の基本的な用法の確認 ・人物や場面の描写の内容の確認	○	○	○	【知識・技能】 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やして語彙を豊かにしている 【思考・判断・表現】 文章の種類を踏まえて、構成や展開の確に捉え、内容を理解することができる 【主体的に学びに向かう姿勢】 進んで古典特有の表現に注意して展開の面白さを味わい、内容を正確に読み取ろうとする	○	○	○	8
	「鴻門之会」 【知識及び技能】 必要な語句の量を増やして語彙を豊かにする 【思考力、判断力、表現力等】 構成や展開の確に捉え、内容を理解する 【学びに向かう力、人間性等】 進んで古典特有の表現に注意して展開の面白さを味わう	指導事項 ・文学作品の特徴や文学史の理解 ・助動詞や敬語の基本的な用法の確認 ・人物や場面の描写の内容の確認	○	○	○	【知識・技能】 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やして語彙を豊かにしている 【思考・判断・表現】 文章の種類を踏まえて、構成や展開の確に捉え、内容を理解することができる 【主体的に学びに向かう姿勢】 進んで古典特有の表現に注意して展開の面白さを味わい、内容を正確に読み取ろうとする	○	○	○	8
	定期考査			○	○		○	○		1
3 学 期	「光源氏の誕生」 【知識及び技能】 必要な語句の量を増やして語彙を豊かにする 【思考力、判断力、表現力等】 構成や展開の確に捉え、内容を理解する 【学びに向かう力、人間性等】 進んで古典特有の表現に注意して展開の面白さを味わう	指導事項 ・文学作品の特徴や文学史の理解 ・助動詞や敬語の基本的な用法の確認 ・人物や場面の描写の内容の確認	○	○	○	【知識・技能】 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やして語彙を豊かにしている 【思考・判断・表現】 文章の種類を踏まえて、構成や展開の確に捉え、内容を理解することができる 【主体的に学びに向かう姿勢】 進んで古典特有の表現に注意して展開の面白さを味わい、内容を正確に読み取ろうとする	○	○	○	8
	定期考査			○	○		○	○		1
				○	○		○	○		合計 70

高等学校 令和8年度（2・3年次用）教科 国語 科目 日本文学探究

教科：国語

科 目： 日本文学探究

單位數： 2 單位

対象学年組：第 2 学年 組～ 組

教科担当者：（外村　　）（組：　　）（組：　　）（組：　　）（組：　　）（組：　　）

使用教科書：（「文学国語」東京書籍）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】 実社会に必要な国語の知識や技能を身につけさせる。

【思考力、判断力、表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高める。

【学びに向かう力、人間性等】 我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 日本文学探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

[illegible]

年間授業計画 新様式例

東久留米総合 高等学校 令和8年度（2 学年用） 教科 地歴公民 科目 地理基礎

教 科： 地歴公民 科 目： 地理基礎 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 選択C群

教科担当者： 藤野

使用教科書： （ 高等学校新地理総合（帝国書院） 新詳高等地図（帝国書院） ）

教科 地歴公民 の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開を理解し、調べまとめる。
- 【思考力、判断力、表現力等】多面的・多角的に考察し、課題の解決に向けて構想し、考察・構想したことを説明し議論する。
- 【学びに向かう力、人間性等】課題を主体的に解決しようとし、日本国民としての自覚、国土や歴史に対する愛情をもつ。

科目 地理基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の生活文化の多様性や、地球的課題への取組などを理解し、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を概念などを活用して多面的・多角的に考察し、課題の解決に向けて構想したりする力や、考察・構想したことを説明し、議論する力を養う。	課題を主体的に追究・解決しようとする態度を養い、日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	人々の生活を支える農業の発展 ・人々の生活を支える農業の発展を知る ・人々の生活を支える農業の発展で討論・発表する ・人々の生活を支える農業の発展を活用する態度を養う	・人々の生活を支える農業の発展の役割 ・栽培限界と灌漑 ・自給的農業と商業的農業	・人々の生活を支える農業の発展を理解している ・人々の生活を支える農業の発展を考察し、表現している ・人々の生活を支える農業の発展を主体的に追究し、解決しようとしている	○	○	○	9
	人々の生活を支える工業の発展 ・人々の生活を支える工業の発展を知る ・人々の生活を支える工業の発展で討論・発表する ・人々の生活を支える工業の発展の課題を解決する態度を養う	・付加価値と原材料の加工 ・消費財と軽工業 ・情報通信技術と国民総所得	・人々の生活を支える工業の発展を理解している ・人々の生活を支える工業の発展を考察し、表現している ・人々の生活を支える工業の発展の課題を主体的に追究し、解決しようとしている	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	グローバル化する現代の産業と人々の生活 ・グローバル化する現代の産業と人々の生活を知る ・グローバル化する現代の産業と人々の生活で討論・発表する ・世界の地形・気候と人々の生活の課題を解決する態度を養う	・多国籍企業と発展途上国 ・産業のグローバル化と知識産業 ・技術輸出と脱工業化社会	・グローバル化する現代の産業と人々の生活を理解している ・グローバル化する現代の産業と人々の生活を考察し、表現している ・グローバル化する現代の産業と人々の生活の課題を主体的に追究し、解決しようとしている	○	○	○	9
	世界に大きな影響力をもつ知識産業と資源 ・世界に大きな影響力をもつ知識産業と資源を知る ・世界に大きな影響力をもつ知識産業と資源で討論・発表する ・世界の言語・宗教と人々の生活の課題を解決する態度を養う	・スノーベルトと大量生産 ・サンベルトとシリコンヴァレー ・シェールガスとシェール革命	・世界に大きな影響力をもつ知識産業と資源を理解している ・世界に大きな影響力をもつ知識産業と資源を考察し、表現している ・世界に大きな影響力をもつ知識産業と資源の課題を主体的に追究し、解決しようとしている	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
2 学 期	世界の食卓に影響を与える農業 ・世界の食卓に影響を与える農業を知る ・世界の食卓に影響を与える農業で討論・発表する ・世界の食卓に影響を与える農業を解決する態度を養う	・アグリビジネスと穀物メジャー ・遺伝子組み換え作物とフィードロット ・適地適作とコーンベルト	・世界の食卓に影響を与える農業を理解している ・世界の食卓に影響を与える農業を考察し、表現している ・世界の食卓に影響を与える農業の課題を主体的に追究し、解決しようとしている	○	○	○	9
	産業の発展を支えてきた移民の力 ・産業の発展を支えてきた移民の力を知る ・産業の発展を支えてきた移民の力で討論・発表する ・産業の発展を支えてきた移民の力の課題を解決する態度を養う	・ネイティブアメリカンとワスプ ・多民族社会とヒスパニック ・Teamsを活用した発表・討論	・産業の発展を支えてきた移民の力を理解している ・産業の発展を支えてきた移民の力を考察し、表現している ・産業の発展を支えてきた移民の力を主体的に追究し、解決しようとしている	○	○	○	8
3 学 期	東アジアの経済成長とその歩み ・東アジアの経済成長とその歩みの展望を知る ・東アジアの経済成長とその歩みで討論・発表する ・東アジアの経済成長とその歩みの課題を解決する態度を養う	・輸出志向型の工業とアジアニーズ ・改革開放政策と生産責任制 ・Teamsを活用した発表・討論	・東アジアの経済成長とその歩みを理解している ・東アジアの経済成長とその歩みを考察し、表現している ・東アジアの経済成長とその歩みを主体的に追究し、解決しようとしている	○	○	○	9
	経済成長による中国の生活と変化 ・経済成長による中国の生活と変化の展望を知る ・経済成長による中国の生活と変化で討論・発表する ・経済成長による中国の生活と変化の課題を解決する態度を養う	・出稼ぎと経済格差 ・大気汚染と酸性雨 ・Teamsを活用した発表・討論	・経済成長による中国の生活と変化を理解している ・経済成長による中国の生活と変化を考察し、表現している ・経済成長による中国の生活と変化を主体的に追究し、解決しようとしている	○	○	○	8
							合計 70

年間授業計画

東久留米総合 高等学校 令和8年度（ 2 年次用） 教科 地理歴史 科目 日本史探究

教 科： 地理歴史 科 目： 日本史探究 単位数： 4 単位

対象学年組：第 2 学年 選択F群、I 群

教科担当者：（①：佐藤） （②：川崎）

使用教科書：（山川出版社 日本史探究『詳説日本史』/日探705 ）

教科 地理歴史 の目標：

- 【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 日本史探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているか。諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したか。歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをともに議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養ったか。多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	日本文化のあけぼの 古墳とヤマト政権 律令国家の形成	旧石器文化・縄文文化の時代の社会を理解する。 稲作伝播の様子などを踏まえて、弥生文化の形成を考察する。 律令国家の形成過程について、東アジア世界との関係を踏まえて考察する。 端末を使用した小テストの実施	【知識・技能】旧石器文化～弥生文化の形成、律令体制の状況などについて、多面的・多角的に考察し、理解している。 【思考・判断・表現】考古資料や文献資料をもとに、旧石器文化～弥生文化の社会、律令国家の形成過程について考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】古代の対外交渉の実態を明らかにしようとしている。	○	○	○	24
	定期考査			○	○		1
	貴族政治の展開 院政と武士の躍進 武家政権の成立	摂関政治や平安時代の文化、武士の成長過程について理解する。 院政期の政治・経済・社会・文化を理解する。 鎌倉時代の政治の動向、国際関係・経済・文化について考察する。 端末を使用した小テストの実施	【知識・技能】摂関政治、院政、平氏政権、鎌倉幕府の成立過程や特色について、理解している。 【思考・判断・表現】摂関政治、院政、平氏政権、鎌倉幕府の成立過程や特色について考察し、根拠を示して表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】平安時代の政治の在り方と文化との関係、鎌倉・室町時代の政治の在り方と文化との関係を考察することを通じて、そのつながりを見出そうとしている。	○	○	○	26
	定期考査			○	○		1
2 学 期	武家社会の成長 近世の幕開け 幕藩体制の成立と展開	南北朝の動乱から室町幕府の成立・安定・動揺について、日本諸地域の動向などを踏まえて考察する。 大航海時代を踏まえたヨーロッパ人の東アジアへの進出、織豊政権の特色と意義とその影響を考察する。 幕藩体制の成立と展開について理解する。 端末を使用した小テストの実施	【知識・技能】室町幕府の成立・安定・動揺と織豊政権、幕藩体制の特色と意義を理解している。 【思考・判断・表現】室町幕府の成立から動揺と織豊政権、幕藩体制の特色と意義を、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】東アジアの国際情勢の変化、中世から近世の国家・社会の変容を考察し、時代を通観する問いを表現しようとしている。	○	○	○	30
	定期考査			○	○		1
	幕藩体制の動揺 近世から近代へ 近代国家の成立 近代国家の展開	幕藩体制の動揺を、国際情勢の変化を踏まえて理解する。 国際環境の変化に着目して、日本の開国と幕府の滅亡、新政府の発足について考察する。 明治新政府により近代国家の基盤が形成されていく過程を考察する。 日清・日露戦争、第一次世界大戦の時期の政治の動向および外交政策の推移について理解する。 端末を使用した小テストの実施	【知識・技能】幕藩体制の動揺や開国と幕末の動乱、明治新政府のによる近代国家の基盤形成、19世紀終わりからの過程とその意義を理解している。 【思考・判断・表現】幕藩体制の動揺や開国と幕末の動乱、明治新政府のによる近代国家の基盤形成の過程とその意根拠を明らかにして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】近世後期から近代国家成立・展開期の諸事象を、国際的な視点から考察し、政治的・経済的・社会的影響について主体的に追究しようとしている。	○	○	○	30
	定期考査			○	○		1
3 学 期	近代の産業と生活 恐慌と第二次世界大戦 占領下の日本 高度成長の時代	資本主義国家の基礎が確立された過程を理解する。 恐慌による国内経済の動揺、日本の対外政策の推移、日中戦争の勃発から太平洋戦争の突入に至る過程について考察する。 占領政策及び戦後の民主化政策、日本の独立について、その経過と内容を理解する。 独立後の日本国内政治、経済復興とその後の高度経済成長について、考察する。 端末を使用した小テストの実施	【知識・技能】産業の発達と恐慌による国内経済の動揺、日中戦争から第二次世界大戦、戦後の諸改革、高度経済成長について理解している。 【思考・判断・表現】産業の発達と恐慌による国内経済の動揺、日中戦争から第二次世界大戦、戦後の諸改革、高度経済成長について、根拠を明確にして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】産業の発達産業の発達と恐慌による国内経済の動揺、日中戦争から第二次世界大戦、戦後の諸改革、高度経済成長について、課題を明確にして主体的に追及している。	○	○	○	25
	定期考査						1
							合計
							140

年間授業計画 様式例

東久留米総合 高等学校 令和8年度（ 2 年次用） 教科 数学 科目 理数Ⅱ（数学Ⅱ）

教 科： 数学 科 目： 理数Ⅱ（数学Ⅱ） 単位数： 4 単位
対象学年組：第 2 学年 組～ 組
教科担当者：（ 組：佐々木 ）（ 組： 町田 ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）
使用教科書：（ 数研出版 高等学校数学Ⅱ ）
教科 数学 の目標：

【知 識 及 び 技 能】 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数式化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 理数Ⅱ（数学Ⅱ） の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数式化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	1 章 方程式・式と証明	1 3 次式の乗法公式と因数分解 2 二項定理 3 多項式の除法 4 分数式とその計算 5 複素数とその演算 6 解の公式 7 解と係数の関係 8 因数定理 9 簡単な高次方程式	【知識・技能】 3次の乗法公式及び因数分解の公式を理解し、それらを用いて式の展開や因数分解をすることができる。因数定理について理解し、簡単な高次方程式について因数定理などを用いてその解を求めることができる。 【思考・判断・表現】 式の計算の方法を既に学習した数や式の計算と関連付け多面的に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 事象を方程式・式と証明の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
	1 章 方程式・式と証明	1 恒等式 2 等式・不等式の証明	【知識・技能】 恒等式の意味を理解して係数を決定したり、等式や不等式の性質を理解している。 【思考・判断・表現】 実数の性質や等式の性質、不等式の性質などを基に、等式や不等式が成り立つことを論理的に考察し、証明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 事象を方程式・式と証明の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。	○	○	○	10
	2 章 図形と方程式	1 2 点間の距離 2 内分点・外分点 3 直線の方程式 4 2 直線の関係 5 円の方程式	【知識・技能】 座標を用いて、平面上の線分を内分する点、外分する点の位置や2点間の距離を表すことができる。 【思考・判断・表現】 座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、それを方程式を用いて表現し、図形の性質や位置関係について考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 事象を図形と方程式の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1

2 学 期	2章 図形と方程式	1 円と直線 2 軌跡の方程式 3 不等式の表す領域	【知識・技能】 軌跡について理解し、簡単な場合について軌跡を求めることができる。 【思考・判断・表現】 数量と図形との関係などに着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、コンピュータなどの情報機器を用いて軌跡や不等式の表す領域を座標平面上に表すなどして、問題解決に活用したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 事象を図形と方程式の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。	○	○	○	16
	3章 三角関数	1 一般角と弧度法 2 三角関数 3 三角関数の性質 4 三角関数のグラフ 5 三角関数の応用 6 加法定理	【知識・技能】 角の概念を一般角まで拡張する意義や弧度法による角度の表し方について理解している。 【思考・判断・表現】 三角関数に関する様々な性質について考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 事象を三角関数の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。	○	○	○	17
	定期考査			○	○		1
	3章 三角関数	1 加法定理の応用 2 三角関数の合成	【知識・技能】 三角関数の加法定理や2倍角の公式、三角関数の合成について理解している。 【思考・判断・表現】 三角関数の式とグラフの関係について多面的に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 事象を三角関数の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。	○	○	○	12
	4章 指数関数・対数関数	1 指数法則 2 累乗根 3 指数の拡張 4 指数関数とそのグラフ 5 対数とその性質 6 対数関数とそのグラフ 7 常用対数	【知識・技能】 指数を正の整数から有理数へ拡張する意義を理解し、指数法則を用いて数や式の計算をすることができる。 【思考・判断・表現】 指数と対数を相互に関連付けて考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 事象を指数関数・対数関数の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。	○	○	○	22
	定期考査			○	○		1
3 学 期	5章 微分と積分	1 微分係数 2 導関数 1 接線 2 関数の増減と極大・極小 3 関数の最大・最小 4 方程式・不等式への応用 1 不定積分 2 定積分 3 定積分と面積	【知識・技能】 微分係数や導関数の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の導関数を求めることができる。 【思考・判断・表現】 関数とその導関数との関係について考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 事象を微分・積分の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。	○	○	○	24
	定期考査			○	○		1
							合計
							140

年間授業計画

東久留米総合 高等学校 令和8年度（ 2 年次用） 教科 数学 科目 文数Ⅱ（数学Ⅱ）

教 科： 数学 科 目： 文数Ⅱ（数学Ⅱ） 単位数： 4 単位
対象学年組：第 2 学年 組～ 組
教科担当：（ 組： 太田 ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）
使用教科書：（ 数研出版 高等学校数学Ⅱ ）
教科 数学 の目標：

【知 識 及 び 技 能】基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 文数Ⅱ（数学Ⅱ） の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統一的・発展的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	1 章 方程式・式と証明	1 3 次式の乗法公式と因数分解 2 二項定理 3 多項式の除法 4 分数式とその計算 5 複素数とその演算 6 解の公式 7 解と係数の関係	【知識・技能】 3次の乗法公式及び因数分解の公式を理解し、それらを用いて式の展開や因数分解をすることができる。 【思考・判断・表現】 式の計算の方法を既に学習した数や式の計算と関連付け多面的に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 事象を方程式・式と証明の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。	○	○	○	18
	定期考査			○	○		1
	1 章 方程式・式と証明	1 因数定理 2 簡単な高次方程式 3 恒等式 4 不等式の証明	【知識・技能】 因数定理について理解し、簡単な高次方程式について因数定理などを用いてその解を求めることができる。 【思考・判断・表現】 実数の性質や等式の性質、不等式の性質などを基に、等式や不等式が成り立つことを論理的に考察し、証明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 事象を方程式・式と証明の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。	○	○	○	20
	2 章 図形と方程式	1 2 点間の距離 2 内分点・外分点 3 直線の方程式 4 2 直線の関係	【知識・技能】 座標を用いて、平面上の線分を内分する点、外分する点の位置や2点間の距離を表すことができる。 【思考・判断・表現】 座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、それを方程式を用いて表現し、図形の性質や位置関係について考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 事象を図形と方程式の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	2 章 図形と方程式	1 2 直線の関係 2 円の方程式 3 円と直線 4 軌跡の方程式 5 不等式の表す領域	【知識・技能】 軌跡について理解し、簡単な場合について軌跡を求めることができる。 【思考・判断・表現】 数量と図形との関係などに着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、コンピュータなどの情報機器を用いて軌跡や不等式の表す領域を座標平面上に表すなどして、問題解決に活用したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 事象を図形と方程式の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。	○	○	○	17
	3 章 三角関数	1 一般角と弧度法 2 三角関数 3 三角関数の性質	【知識・技能】 角の概念を一般角まで拡張する意義や弧度法による角度の表し方について理解している。 【思考・判断・表現】 三角関数に関する様々な性質について考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 事象を三角関数の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1

2 学 期	3 章 三角関数	1 三角関数のグラフ 2 三角関数の応用 3 加法定理 4 加法定理の応用 5 三角関数の合成	【知識・技能】 三角関数の加法定理や2倍角の公式、三角関数の合成について理解している。 【思考・判断・表現】 三角関数の式とグラフの関係について多面的に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 事象を三角関数の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。	○	○	○	15
	4 章 指数関数・対数関数	1 指数法則 2 累乗根 3 指数の拡張 4 指数関数とそのグラフ	【知識・技能】 指数を正の整数から有理数へ拡張する意義を理解し、指数法則を用いて数や式の計算をすることができる。 【思考・判断・表現】 指数関数の式とグラフの関係について、多面的に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 事象を指数関数の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
3 学 期	4 章 指数関数・対数関数	1 対数とその性質 2 対数関数とそのグラフ	【知識・技能】 対数の意味とその基本的な性質について理解し、簡単な対数の計算をすることができる。 【思考・判断・表現】 指数と対数を相互に関連付けて考察したり、対数関数の式とグラフの関係について多面的に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 事象を対数関数の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。	○	○	○	6
	4 章 指数関数・対数関数	1 常用対数	【知識・技能】 常用対数の意味とその基本的な性質を理解することができる。 【思考・判断・表現】 二つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 事象を対数関数の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。	○	○	○	2
	5 章 微分と積分	1 微分係数 2 導関数 1 接線 2 関数の増減と極大・極小 3 関数の最大・最小 4 方程式・不等式への応用 1 不定積分 2 定積分 3 定積分と面積	【知識・技能】 微分係数や導関数の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の導関数を求めることができる。 【思考・判断・表現】 関数とその導関数との関係について考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 事象を微分・積分の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。	○	○	○	19
	定期考査			○	○		1
	5 章 微分と積分	1 定積分と面積	【知識・技能】 定積分の意味について理解し、定積分の値を求めることができる。 【思考・判断・表現】 微分と積分の関係に着目し、積分の考えを用いて直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求める方法について考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 事象を微分・積分の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。	○	○	○	2
							合計
							140

年間授業計画

東久留米総合 高等学校 令和8年度（2年次用） 教科

数学 科目 理数演習ⅡB

教科： 数学

科目： 理数演習ⅡB

単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 組～ 組

教科担当者：（ 組：佐々木 ）（ 組： 町田 ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）

使用教科書：（ 数研出版 高等学校数学Ⅱ ）

教科 数学

の目標：

【知識及び技能】	基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 理数演習ⅡB

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	1 章 方程式・式と証明	1 3次式の乗法公式と因数分解 2 二項定理 3 多項式の除法 4 分数式とその計算 5 複素数とその演算 6 解の公式 7 解と係数の関係 8 因数定理 9 簡単な高次方程式	【知識・技能】 3次式の因数分解や因数定理について理解し、簡単な高次方程式について因数定理などを用いてその解を求めることができる。 【思考・判断・表現】 式の計算の方法を既に学習した数や式の計算と関連付け多面的に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 事象を方程式・式と証明の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	1 章 方程式・式と証明	1 恒等式 2 不等式の証明	【知識・技能】 恒等式の意味を理解して係数を決定したり、等式や不等式の性質を理解している。 【思考・判断・表現】 実数の性質や等式の性質、不等式の性質などを基に、等式や不等式が成り立つことを論理的に考察し、証明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 事象を方程式・式と証明の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。	○	○	○	6
	2 章 図形と方程式	1 2点間の距離 2 内分点・外分点 3 直線の方程式 4 2直線の関係 5 円の方程式	【知識・技能】 座標を用いて、平面上の線分を内分する点、外分する点の位置や2点間の距離を表すことができる。 【思考・判断・表現】 座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、それを方程式を用いて表現し、図形の性質や位置関係について考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 事象を図形と方程式の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。	○		○	8
	定期考査			○	○		1
2 学 期	2 章 図形と方程式	1 円と直線 2 軌跡の方程式 3 不等式の表す領域	【知識・技能】 軌跡について理解し、簡単な場合について軌跡を求めることができる。 【思考・判断・表現】 数量と図形との関係などに着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、コンピュータなどの情報機器を用いて軌跡や不等式の表す領域を座標平面上に表すなどして、問題解決に活用したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 事象を図形と方程式の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。	○	○	○	6
	3 章 三角関数	1 一般角と弧度法 2 三角関数 3 三角関数の性質 4 三角関数のグラフ 5 三角関数の応用 6 加法定理	【知識・技能】 角の概念を一般角まで拡張する意義や弧度法による角度の表し方について理解している。 【思考・判断・表現】 三角関数に関する様々な性質について考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 事象を三角関数の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
	3 章 三角関数	1 加法定理の応用 2 三角関数の合成	【知識・技能】 三角関数の加法定理や2倍角の公式、三角関数の合成について理解している。 【思考・判断・表現】 三角関数の式とグラフの関係について多面的に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 事象を三角関数の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。	○	○	○	4

3 学 期	4 章 指数関数・対数関数	1 指数法則 2 累乗根 3 指数の拡張 4 指数関数とそのグラフ 5 対数とその性質 6 対数関数とそのグラフ 7 常用対数	【知識・技能】 指数を正の整数から有理数へ拡張する意義を理解し、指数法則を用いて数や式の計算をすることができる。 【思考・判断・表現】 指数と対数を相互に関連付けて考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 事象を指数関数・対数関数の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	5 章 微分と積分	1 微分係数 2 導関数 3 接線 4 関数の増減と極大・極小 5 関数の最大・最小 6 方程式・不等式への応用 7 不定積分 8 定積分 9 定積分と面積	【知識・技能】 微分係数や導関数の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の導関数を求めることができる。 【思考・判断・表現】 関数とその導関数との関係について考察することができる 【主体的に学習に取り組む態度】 事象を微分・積分の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。	○	○	○	10
	定期考査						1
							合計
							70

年間授業計画 様式例

東久留米総合 高等学校 令和8年度（2 年次用） 教科

数学

科目 数学B

教科： 数学

科目： 数学B

単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年

組～ 組

教科担当者：（ 組：佐々木 ）（ 組：町田 ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）

使用教科書：（ 数研出版 高等学校数学B ）

教科 数学

の目標：

【知識及び技能】基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学B

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と社会生活との関わりについて認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	1 章 数列	1 数列 2 等差数列 3 等比数列 4 和の記号 Σ 5 階差数列	【知識・技能】 等差数列、等比数列や階差数列について理解し、それらの一般項や和を求めることができる。 【思考・判断・表現】 事象から離散的な変化を見だし、それらの変化の規則性を数学的に表現し考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 事象を数列の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	1 章 数列	1 漸化式 2 数学的帰納法	【知識・技能】 漸化式について理解し、事象の変化を漸化式で表したり、簡単な漸化式で表された数列の一般項を求めたりすることができる。 数学的帰納法について理解している。 【思考・判断・表現】 事象の再帰的な関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、数列の考えを問題解決に活用するとともに、自然数の性質を見だし、それらを数学的帰納法を用いて証明するとともに、他の証明方法と比較し多面的に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 事象を数列の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
2 学 期	2 章 統計的な推測	1 母集団と標本 2 確率変数と確率分布 3 確率変数の平均と分散	【知識・技能】 数学的帰納法について理解している。 【思考・判断・表現】 自然数の性質を見だし、それらを数学的帰納法を用いて証明するとともに、他の証明方法と比較し多面的に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	9
	2 章 統計的な推測	1 母集団と標本 2 確率変数と確率分布 3 確率変数の平均と分散 4 確率変数の和と積	【知識・技能】 標本調査の考え方について理解している。 【思考・判断・表現】 確率分布や標本分布の特徴を、確率変数の平均、分散、標準偏差などを用いて考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 事象を統計的な推測の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1

3 学 期	2章 統計的な推測	1 二項分布 2 正規分布 3 母集団の分布	【知識・技能】 二項分布と正規分布の性質や特徴について理解している。 【思考・判断・表現】 目的に応じて標本調査を設計し、収集したデータを基にコンピュータなどの情報機器を用いて処理するなどして、母集団の特徴や傾向を推測することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 事象を統計的な推測の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
	2章 統計的な推測	1 標本平均の分布 2 母平均の推定 3 仮説検定の方法	【知識・技能】 正規分布を用いた区間推定及び仮説検定の方法を理解している。 【思考・判断・表現】 標本調査の方法や結果を批判的に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
							合計
							70

年間授業計画

東久留米総合 高等学校 令和8年度（2 年次用） 教科 数学 科目 文系数学演習ⅠA

教 科： 数学 科 目： 文系数学演習ⅠA 単位数： 2 単位
対象学年組：第 2 学年 組～ 組
教科担当者：（ 1 組～6 組：内藤）
使用教科書：（ ジュニア演習 ）
教科 数学 の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】 基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 文系数学演習ⅠA の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・数と式、図形と計量、2次関数およびデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。	・命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力を身に付けている。 ・図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力を身に付けている。 ・関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力を身に付けている。 ・社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を身に付けている。	・数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	式についての用語の意味を理解する。また、特定の文字や式の次数への着目を通して、式について多様な見方をすることができる。	式の展開・因数分解 根号を含む式の計算	【知識・技能】 ・式についての用語の意味を理解している。 【思考・判断・表現】 ・式の一部を1つの文字のように見なしたり、1つの文字について整理したりするなど、見通しをもって複雑な式を因数分解することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・中学校で学んだ等式の性質と関連付けながら、不等式の性質を考えようとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
	連立不等式を解いたり、1次不等式を日常の事象の問題解決に活用したりすることができる。また、絶対値記号を含む基本的な方程式・不等式を解くことができる。定義域に応じて、2次関数の最大値・最小値を、グラフを利用して求めることができる。また、日常の事象の問題解決に2次関数を活用することができる。2次不等式を含む連立不等式を解くことができる。また、2次不等式を日常の事象の問題解決に活用することができる。	1 次不等式 2 次関数のグラフ 2 次関数の最大・最小 グラフと 2 次方程式 グラフと 2 次不等式	【知識・技能】 ・関数についての基本的な概念を理解している。 【思考・判断・表現】 ・2つの放物線の位置関係について頂点に着目して考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・ $y=ax^2$ のグラフをもとに、2次関数 $y=ax^2+q$, $y=a(x-p)^2$, $y=a(x-p)^2+q$, $y=ax^2+bx+c$ のグラフをかく方法を考えようとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
2 学 期	鋭角の二角比の意味を二角形の構成要素間の関係に関連付けて理解し、様々な場面に应用することができる。二角比の相互関係や90°-Aの二角比について理解する。三角形の辺と角、外接円の半径の間に成り立つ関係を考え、正弦定理と関連付けて正弦定理を理解し、利用することができる。三角形の面積を、二角比を用いて表す方法を理解する。また、円に内接する四角形の面積を求めることができる。	平面図形 空間図形 三角比 正弦定理・余弦定理 図形の軽量	知識・技能】 ・定義域に応じて、2次関数の最大値・最小値を、グラフを利用して求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・図形の構成要素間の関係に着目し、二角比を利用して日常に関する問題を解決することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・日常の事象や社会の事象などに二角比を活用しようとしている。	○	○	○	18
	定期考査			○	○		1
	集合の要素の個数に関する基本的な関係を理解し、日常の事象の問題解決に活用することができる。樹形図を用いた数え上げや、和の法則、積の法則という数え上げの原則を理解し、場合の数を求めることができる。	集合と命題 場合の数、順列 組合せ 確率	【知識・技能】 ・集合の要素の個数に関する基本的な関係を理解している。 【思考・判断・表現】 ・整数の約数の個数を求める方法を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・日常の事象に集合の要素の個数を活用しようとしている。	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
3 学 期	確率の基本性質について集合と関連付けながら理解し、性質を利用して確率を求めることができる。反復試行の意味を理解し、反復試行の確率を求めることができる。また、状況に応じて、確率を求める方法を多面的に考察することができる。	数学と人間の活動 データの分析 応用問題	【知識・技能】 ・確率の基本性質について集合と関連付けながら理解し、その性質を利用して確率を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・3つの独立な試行におけるある事象について、適切に場合分けして、その確率を求める方法を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・条件付き確率について学んだことを、日常の事象の問題解決に生かそうとしている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
							合計
							70

年間授業計画 新様式

東久留米総合 高等学校 令和8年度（2年次用） 教科

理科

科目

総合化学

教 科： 理科

科 目： 総合化学

単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 年 1 組～ 6 組

教科担当者：（ 原 ・ 小坂

）

使用教科書：（ 化学701「化学 Vol.1理論編」 化学702「化学 Vol.2物質編」（東京書籍）

教科 理科

の目標：

【知 識 及 び 技 能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】観察・実験などを通して、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 総合化学

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
化学の基本的な概念や原理・法則を理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する操作や記録などの技術を身に付けている。	化学的な事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	化学的な事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容		知	思	態	配当 時数
1 学期	1 年の復習・物質と化学反応式 【知識及び技能】物質と化学反応式について、物質と化学反応式等理解するとともに、それらに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】物質と化学反応式について探究し、物質の変化における規則性や関係性を見いだして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】物質と化学反応式に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	【指導】黒板やPowerPointを使用。教室授業でも、演示実験や動画等を見せる機会を増やす。 【教材】主に教科書・問題集。 授業プリントを配布・提出。穴埋め以外のメモ等も評価。問題集はノート（ルーズリーフ可）に解いて提出。同様に評価。 【一人1台端末の活用】 Teams内「2年総合化学チーム」に復習用資料を置き、活用できるようにする。	【知識・技能】物質と化学反応式の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】物質と化学反応式について問題を見だし見通しを持ち、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】物質と化学反応式に関する事物・現象について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	6
	第2部 第3章 酸化還元反応 【知識及び技能】化学反応を通して、酸化と還元が電子の授受によることを理解するとともに、それらに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】化学反応について探究し、酸化と還元における規則性や関係性を見いだして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】化学反応について、酸化と還元に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	【指導】黒板やPowerPointを使用。教室授業でも、演示実験や動画等を見せる機会を増やす。 【教材】主に教科書・問題集。 授業プリントを配布・提出。穴埋め以外のメモ等も評価。問題集はノート（ルーズリーフ可）に解いて提出。同様に評価。 【一人1台端末の活用】 ①Teams内「2年総合化学チーム」に復習用資料を置き、活用できるようにする。 ② 授業中にClassi や Teamsを利用して、意見発表や確認テストを実施する。	【知識・技能】化学反応を通して、酸化と還元の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な基本操作や記録などの技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】酸化と還元について問題を見だし見通しを持ち、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】酸化と還元について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
2 学期	無機物質 非金属元素の単体とその化合物 【知識及び技能】無機物質について、非金属元素のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】無機物質について、観察、実験などを通して探究し、非金属元素について見いだして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】非金属元素に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	【指導】黒板やPowerPointを使用。教室授業でも、演示実験や動画等を見せる機会を増やす。 【教材】主に教科書・問題集。 授業プリントを配布・提出。穴埋め以外のメモ等も評価。問題集はノート（ルーズリーフ可）に解いて提出。同様に評価。 【一人1台端末の活用】 ①Teams内「2年総合化学チーム」に復習用資料を置き、活用できるようにする。 ② 授業中にClassi や Teamsを利用して、意見発表や確認テストを実施する。	【知識・技能】無機物質についての実験などを通して、非金属元素の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】非金属元素について、問題を見だし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】非金属元素について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
	無機物質 金属元素の単体とその化合物 【知識及び技能】無機物質について、遷移元素のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】無機物質について、観察、実験などを通して探究し、典型金属元素について見いだして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】金属元素に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	【指導】黒板やPowerPointを使用。教室授業でも、演示実験や動画等を見せる機会を増やす。 【教材】主に教科書・問題集。 授業プリントを配布・提出。穴埋め以外のメモ等も評価。問題集はノート（ルーズリーフ可）に解いて提出。同様に評価。 【一人1台端末の活用】 ①Teams内「2年総合化学チーム」に復習用資料を置き、活用できるようにする。 ② 授業中にClassi や Teamsを利用して、意見発表や確認テストを実施する。	【知識・技能】無機物質についての実験などを通して、典型金属元素の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】典型金属元素について、問題を見だし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】典型金属元素について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
3 学期	有機化合物 有機化合物の構造・炭化水素 【知識及び技能】有機化合物について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】有機化合物について、観察、実験などを通して探究し、特徴や構造について見いだして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】有機化合物に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。	【指導】黒板やPowerPointを使用。教室授業でも、演示実験や動画等を見せる機会を増やす。 【教材】主に教科書・問題集。 授業プリントを配布・提出。穴埋め以外のメモ等も評価。問題集はノート（ルーズリーフ可）に解いて提出。同様に評価。 【一人1台端末の活用】 ①Teams内「2年総合化学チーム」に復習用資料を置き、活用できるようにする。 ② 授業中にClassi や Teamsを利用して、意見発表や確認テストを実施する。	【知識・技能】有機化合物についての実験などを通して、有機化合物の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】有機化合物について、問題を見だし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。 【主体的に学習に取り組む態度】有機化合物について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
							合計 70

外国語 科目 総合英語Ⅰ

單位數： 2 單位

外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

の目標：

- ・長文読解を通じて、言語の働きへの理解を深める。
- ・書き手の意図を的確に理解し、自分の考えや意見を述べることができる。
- ・文化に対する理解を深めよりよい社会の実現に向け行動する態度を養う。

[illegible]

東久留米総合 高等学校 令和8年度（2・3年次用）教科

科目

Global Communication

单位数： 2 单位

使用教科書：（ Stretch 3 ）

の目標：

【思考力、判断力、表現力等】学習した語句や文法事項を用いて、自分の意見を話したり、書いたりできる。

【学びに向かう力、人間性等】主体的にペアで話し合ったり、発表しようとしている。また、学習について振り返りができる。

の目標・

[illegible]